

「 人間が健康で自由な人生を送るようになるためには 」

2007年3月1日
(株) グリーンファンド
山内 浩一
www.greenfund.co.jp
info@greenfund.co.jp

「 人間が健康で自由な人生を送るようになるためには 」

それには次の6つのことが成し遂げられる必要があります。1衣 2食 3住 4医療 5教育の機会 6情報 7エネルギーの7つが良質で安価に入手できるようになることです。このうち、戦後の日本では1から5までについては3を除き、ほぼ欧米先進国並みの水準まで達しました。また 6は近年のインターネット革命でWEB技術などが普及し、歴史上初めて為政者だけでなく普通の人間も自由に、主体的に膨大な情報を収集、そしてbroadcastできるようになりました。

7のエネルギーに目を落としてみましょう。20世紀初頭から始まり、今まで石油(石炭、天然ガス)メジャーが採掘した地下資源を大手企業(大手の電力会社など)が電気、熱エネルギーに転換し、そのエネルギーを一般庶民はこれら巨大企業から購入して生活をしてきました。

即ち、一般の人々はこれらの大企業からエネルギー供給面で依存、従属して生活しているわけです。日本の電力会社は地域独占営業権を得る一方で、電力の安定供給という社会的に意義のある責務を果たして居られるとは思いますが、今後はコンピューターが【大型機一辺倒】から【パソコンが爆発的に普及】したように、エネルギーも分散供給されるようになると思います。

しかし、もしクリーンで地下資源を食いつぶすことなく、地球の空気の構成を改悪しない手段で他者、他企業に依存することなく、安価でクリーンなエネルギーが自宅で入手できるようになったら、地球の持続性は勿論の事、人間の自由度が飛躍的に高まります。その分だけ、自由時間が増えるわけです。

再生可能エネルギー(風力、バイオ、太陽光、水力)のなかで太陽光(発電)にわたくしが力を注ぐ理由は、太陽光には他の再生可能エネルギーと異なる2つの利点があるとわたくしが考えるからです。

(1) その1つ目は、太陽光発電は技術革新によって今後大幅なコスト削減が行われるた

め、家庭に安価に設置できるようになり、クリーンなエネルギーを各家庭が自給できるようになることです。自給できるようになれば、冒頭に掲げました命題「人間が健康で自由な人生を送るようになるために」必要な7つの要素のうち1つを充たす事ができてその分だけ人間を自由にします。一基 100メートルの高さまでに大型化した風力ではこうはいきません。引き続き、大きな風力発電会社から電力を買い続けることとなります。バイオ発電もしかりです。

- (2) その2つ目はエネルギー密度の違いです。1㎡あたり入手できる電力量はバイオマス：1watt/㎡、風力：8.3watt/㎡に対して太陽光発電では現状に技術でも 170watt/㎡に達していて今後この170wattという値がさらに上昇する技術が開発されつつあります。(出所：①Energy--- a beginner's guide--- Vaclav Smil 著 Oneworld Oxford 165 ページ、②日本の各メーカー製の太陽電池の現状の定格発電容量が170wattに到達していること、③風力発電導入ガイドブック 18、94 ページのデータより計算 2005年5月改定第8版独立行政法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構刊)。エネルギー密度が低いと同じエネルギーを入手しようとしても多くの面積が必要となります。例えば世界全体の化石燃料消費の25%を木質バイオマスエネルギーで賄おうとすると欧州とアメリカ合衆国のすべての森林をそのバイオマスエネルギーの供給のために充当する必要に迫られ非現実的です。

またガソリンを買わなくて済む時代がもうすぐ来ます。何故ならば、本田やトヨタが太陽光発電技術に熱心(別途資料があります)なのですが、あと10年程度で市場に投入することを考えている水素燃料電池で走る車の水素燃料を家庭の水道水を分解し、水素から賄おうとしているためかもしれません。その水素分解をさせるために必要な電気エネルギーを、車を保有する各家庭に普及させる太陽電池で安価に行えるようになるでしょう。

現在、太陽光発電による一キロワット当たりの発電コストは¥46程度と言われておりますが、シャープがアモルファスシリコン型の太陽電池工場がフル稼働する2010以降には¥23円になっている可能性が高まります。現在、一般消費者が電力会社から購入している電力単価は¥25程度ですから、2~3年後には自宅の屋根に太陽光パネルを乗せたほうが電力会社から電力を購入するよりも割安にかつクリーンな電力を確保できます。(2007年7月31日発表の同社プレスリリース)

わたくしはどうせ仕事をやるならば 【1】世の中のためになり、【2】ワクワクして、【3】化石エネルギー狩猟型から再生エネルギー耕作型文明への転換という大きな歴史の流れに参画でき、【4】息子や娘に自慢できることをやりたい 全力でやりたい と考えている次第です。

そしてより多くの皆様、投資家様のご支援を頂戴し、皆様とご一緒にこの歴史の流れに参加して、

かつ楽しみながらやりたいと考えております。

以上